

論点案

＜第1回検証会配布資料から追記箇所を赤字で記載＞
(※ 資料4、5に記載の論点を含む)

第1回検証会の主な意見

1. 総論

【検証会の進め方について】

- ◆ 地方創生に関する検証や検討に向けた様々な会議が多く開催されている中で、本検証会はどのような位置づけになるかを確認したうえで議論を進めていく必要がある。
- ◆ 各関係会議の場における議論も共有しながら、本検証会を進めていくべきではないか。

論点案

<第1回検証会配布資料から追記箇所を赤字で記載>
(※ 資料4、5に記載の論点を含む)

第1回検証会の主な意見

2. まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPIの検証

【第1期「総合戦略」のKPIの検証について】

○第1期「総合戦略」の最終年度を迎えるにあたり、中間年のKPI検証チームと同様に総合戦略の全てのKPIについて、進捗状況の検証を行い、十分な効果が発現していない施策や取組が十分でない施策についての方策等について検討する。

○基本目標2について、新しいひとの流れをつくる取組の拡充を図っているが、目標と施策の内容が適合しているか。

○基本目標3について、KPIの件数が中間年時点よりも減少しているが、様々な視点から施策を強化することが必要なのではないか。

◆ 第1回検証会の資料3におけるKPIの評価区分(①、②、③)については、中間年と同一の基準に基づき、評価区分の①について、目標値を達成したものと、当初値よりは進捗しているがまだ目標値を達成していないものが、同じ「①」という評価になっているが、これで良いのか。例えば、数値の伸び率などを考慮して判断するなど、客観性を持たせて評価する必要があるのではないか。

◆ 数値目標を掲げているもので、現在値が入っていないものについては、正確な数値は取れずとも、何らかの参考値を記載しておくべきではないか。

◆ アウトカム指標の最たるものが、東京一極集中の是正に係る地方・東京圏の転出入均衡という目標になっており、この部分が最も成果が上がっていない。いろいろと政策を打って取り組んでいる中で、これはあまりに厳しい指標だったのではないか。「頑張っても仕方がない」という風に見えるのは非常に残念なので、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に向けては、政策の成果を前向きに評価できるような他の成果指標を検討してもよいのではないか。

◆ 基本目標3について、KPIの評価は①が並んでいるが、実際の人口には反映されていない。第2期の総合戦略策定に向けては、こうした施策が地方創生にどんな観点で役に立っているかを考えていく必要があるのではないか。

論点案

<第1回検証会配布資料から追記箇所を赤字で記載>
(※ 資料4、5に記載の論点を含む)

第1回検証会の主な意見

2. まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPIの検証

【第2期「総合戦略」におけるKPIの検証のあり方について】

- 第2期「総合戦略」におけるKPIの検証をより効果的なものにするため、KPI検証のあり方を検討する。
- 第1期と同様に、第2期「総合戦略」においても、中間年・最終年において、政策の進捗状況について、外部有識者の意見を踏まえつつ、KPIを検証し、改善を実施する方向でよいか。

- ◆ KPIによる進捗状況の確認だけでなく、第2期の総合戦略におけるKPIのあり方についても考えるべきではないか。
- ◆ KPIの中に、インプット指標とアウトカム指標が混在しているのではないか。
- ◆ 一部のKPIで、現在値が入っておらず、評価のしようがないものがあるため、KPIの立て方自体についても検証すべきではないか。

論点案

<第1回検証会配布資料から追記箇所を赤字で記載>
(※ 資料4、5に記載の論点を含む)

第1回検証会の主な意見

3. 東京一極集中の是正

【総論】

- 東京一極集中の是正に向けた目標として「東京圏から地方への転出・転入を均衡」を設定しているが、東京23区への都心回帰が進む中で、一都三県を同一にみなす現在の目標は適切か。
- これまでの観点に加え、近年、移動による東京圏の人口増加は男性より女性による影響が大きくなっていることを考慮し、女性にとって魅力のある地域づくりという視点での分析や、特に若年者の東京圏への意識に基づく分析等、様々な角度から東京圏への一極集中の要因について検討する必要があるのではないか。
- これまで、地方に比べてより低い出生率にとどまっている東京圏に若い世代が集中することによって、日本全体としての人口減少に結び付く可能性があること等から、東京一極集中の是正に取り組んできた。東京一極集中の是正の意義について、近年の社会・経済状況の変化を踏まえたうえで、共有化を図るべきではないか。
(参考) 地方の担い手の確保、生活環境、人材の多様性の確保、災害リスク等
- 東京一極集中の傾向が続いていることを踏まえると、年齢別の検証のみでは不十分ではないか。性別や、企業の動向など、幅広い要因分析を行うべきではないか。
- 東京一極集中の是正に向けた目標として「2020年に東京圏から地方への転出・転入を均衡」を設定している。目標設定にあたって、対象や、地域、期限について、より多角的な議論を行うべきではないか。

- ◆ 東京一極集中是正に係るKPIについて、東京23区に着目する場合は、通勤圏を考慮する必要がある。
- ◆ 分社化により、地方にある程度本社機能を移していた企業が、リーマンショック以降次々と体制を再編し、本社機能が東京圏に集中してきたことも一極集中の要因ではないか。
- ◆ 通勤時間は非常に重要な視点。東京圏も通勤時間は短くなってきているのではないか。その意味で東京の優位性も上がっている可能性がある。住んでいる近くに仕事があるのが最も良い状態。

論点案

<第1回検証会配布資料から追記箇所を赤字で記載>
(※ 資料4、5に記載の論点を含む)

第1回検証会の主な意見

3. 東京一極集中の是正

○まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標設定にあたっては、過去を含めた中長期的な動向を把握・分析する観点から、「日本人移動者」の数値で整理してきたところ、総務省「住民基本台帳人口移動報告」において、外国人を含めた、全体としての移動状況を集計・公表するようになったことを踏まえ、目標を設定すべきか。

【女性の移動】

○東京一極集中を是正するためには、東京圏への転入超過数の増加は男性よりも女性による影響の方が大きいことを踏まえると、女性にとって魅力のある地域づくりをすることが必要ではないか。具体的には、どのような施策が必要か。

○東京圏は、地方に比べ、大企業、正規雇用、事務職等の職種、サービス産業の割合が高く、近年の女性の大学進学率向上と相まって、女性の東京圏への移動を後押ししていると考えられるが、どう対応すべきか。

○女性は「医療・福祉」産業に就職する割合が多いことを踏まえると、東京圏をはじめとする大都市圏における医療・介護需要の高まりに応じ、女性が大都市圏へ移動する可能性があるが、どう対応すべきか。

- ◆ 東京圏への転入超過について、近年、女性が男性を大きく上回っているのは、女性の4年制大学への進学率が上がっていることが大きく影響しているのではないか。
- ◆ 地方においては、男性と比べ女性が活躍できる職場がまだ足りておらず、女性が東京圏に流れてしまっているのではないか。したがって、地方において、女性にとって魅力的な仕事をつくることが重要ではないか。
- ◆ 特に、地方では従来の働き方を前提として男性を中心に採用している現場があったり、高学歴の女性であっても総合職で入社することが難しいといった例があることから、企業の意識を変えとともに、総合職における男女採用比率を目標として設定するなどの取組も必要ではないか。

論点案

<第1回検証会配布資料から追記箇所を赤字で記載>
(※ 資料4、5に記載の論点を含む)

3. 東京一極集中の是正

【若者の意識】

○地方が東京圏へ持つイメージと、東京圏の実態にギャップがあるのではないか。このため、東京圏の情報について、正確な情報を発信する必要があるのではないか。

○地方の仕事や暮らし等の魅力について、東京圏の情報と比較しながら、具体的かつ分かりやすくとりまとめて、正確に情報を発信する必要があるのではないか。また、知ってもらう機会を増大させる必要があるのではないか。

○男女を含め、若者の意識について把握する必要があるのではないか。

【その他】

第1回検証会の主な意見

◆ 東京は、持ち家価格は高いが、賃貸住宅価格は供給量が大量に増えていることから地方と大差がないのではないか。このようなことが若い世代の都心回帰に影響しているのではないか。

◆ 就職活動がインターネットを介して行われるようになったことも大きいのではないか。大企業に就職を希望する流れがインターネットの就職活動で一気に加速しているのではないか。

◆ いわゆる転勤族の実態が今どうなっているか、関心はあるが、データで見るのは難しい。新幹線の開通等で交通の便が良くなった結果、一つの拠点から用事があるときだけ地方に行くような、いわゆる「出張族」が増えたことは言えるのではないか。

◆ 今後、外国人材が増加することが予想される中で、地方創生の施策とどう整合性をとり、調和させていくのか考えていく必要があるのではないか。外国人にとって働きやすい職場を地方が目指さなければ、やはり東京一極集中になる可能性があるのではないか。

◆ 第1回検証会の議論で出た論点について、データが取れるようなものについてはある程度裏付けをとってほしい。

論点案

<第1回検証会配布資料から追記箇所を赤字で記載>
(※ 資料4、5に記載の論点を含む)

第1回検証会の主な意見

4. 政策の企画・実行に当たっての基本方針

【地方公共団体の特性に応じた支援の強化】

○規模を含めた、地方公共団体の特性に応じた多様なメニューを提示し、取組の促進を図るべきか。

【東京圏をはじめとする大都市の高齢者問題への対応】

○東京圏をはじめとする大都市圏の問題にどう対応するか。

論点案

<第1回検証会配布資料から追記箇所を赤字で記載>
(※ 資料4、5に記載の論点を含む)

第1回検証会の主な意見

5. 「地方創生版・三本の矢」などの地方創生に向けた支援の検証

- 「地方創生版・三本の矢」などの地方創生に向けた支援について、現状、実績、課題、今後の改善策を提示し論点を整理したうえで、より効果的な支援のあり方について検討するべきではないか。

6. 「地方版総合戦略」の検証

- これまでの各地方公共団体における「地方版総合戦略」等の進捗状況等を踏まえ、次期「地方版総合戦略」に関し、国はどのような支援を行うべきか。